

令和5年度 社会教育主事講習 [B]

令和6年1月12日(金)～2月16日(金) ※生涯学習概論、社会教育経営論をeラーニング・ライブ配信、生涯学習支援論の一部をライブ配信、生涯学習支援論の一部及び社会教育演習を集合形式で実施

社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき、文部科学省の委嘱を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習を実施した。

主会場：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

地方会場：①岩手会場、②宮城会場、③群馬会場、④千葉会場、⑤神奈川会場、⑥新潟会場、⑦長野会場、⑧静岡会場、⑨鳥取会場、⑩島根東会場、⑪島根西会場、⑫広島会場、⑬愛媛会場、⑭長崎会場、⑮沖縄会場

参加者：458名

生涯学習概論

eラーニング 1月12日(金曜日)～1月22日(月曜日)
ライブ配信 1月22日(月曜日)

生涯学習の現代的意義、生涯学習振興施策、社会教育の意義・特質、社会教育行政の組織・役割、基本法令、家庭・学校・地域の連携と協働等、社会教育主事として身に付けるべき生涯学習・社会教育の基礎的知識や理論について、講義、事例研究を通して理解を深めることができるよう構成した。



東京家政大学大学院
客員教授 山本 和人



立正大学
教授 小川 義和



【シンポジウム】
社会教育施設の意義と役割

左上：大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター
教授 岡田 正彦
右上：宇和島市教育委員会
生涯学習課
担当係長 西尾 祥之
左下：紫波町情報交流館
館長 藤尾 智子
右下：北名古屋市歴史民俗資料館
専門幹 市橋 芳則

受講者の声

- 社会教育行政の仕組みや社会教育委員にすることが理解できた。
- 地域と地域行政、地域コミュニティ形成に「公民館」の存在が大きいことが分かった。
- 社会教育に携わる一人として、蓄えられた知の力をより良い社会の構築のために循環させていかなければならないと思った。

社会教育経営論

eラーニング 1月23日(火曜日)～2月2日(金曜日)
ライブ配信 2月2日(金曜日)

社会教育行政と地域づくりマネジメント、社会教育行政と市民協働・住民自治、社会教育事業における評価の意義と方法、家庭・学校・地域の連携・協働の推進と地域活性化等、多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決や地域学校協働活動等につなげていくための知識や技能について、講義、事例研究、シンポジウムを通して理解を深めることができるよう構成した。



横浜国立大学
教授 土屋 隆裕



下関国立大学
准教授 天野 かおり



【シンポジウム】
家庭、学校、地域の連携・協働の推進と地域の活性化

左上：全国体験活動ボランティア活動総合推進センター
コーディネーター 大坪 直子
右上：認定NPO法人
さぬきずくコミュニティ
理事長 高橋 勝子
下：地球クラブ
代表 小岩 井 彰

受講者の声

- 職務でアンケートを取ることが多く、回答数が多くはないが、早速生かしていきたいと思った。
- 地域と学校が役割と責任を分担することで、共通のビジョンに向かって一体的に推進していくことの重要性を学んだ。
- 行政と様々な団体とが連携・協働することで、地域はより活性化するということが、多くの事業実践を例にして学ぶことができた。

生涯学習支援論

2月5日(月曜日)～2月9日(金曜日)
※支援論演習は、2月8日(木曜日)～9日(金曜日)に実施

社会教育主事として学習者の多様な特性に応じた学習支援に対応できるように、学習支援の原理、生涯発達から見た学習者の特性、学習支援の方法・形態、学習プログラムの設計・運営についての講義、事例研究、参加型学習の実際とファシリテーション技法等についての講義、演習を実施した。



生涯学習政策研究部
総括研究官 志々田 まなみ



大分大学大学院
教授 清國 祐二



(演習)参加型学習の実際と
ファシリテーション技法の様子

受講者の声

- 参加型学習はあくまでも目標を達成するための手立てであり、目標によって内容を変える必要があるなど、これからの実践に活かしていきたいと思った。
- ファシリテーターの役割やラベルワークの進め方、留意点、コンセンサス法の手法等、基本的なところからポンチ絵作成への活用等応用できる場面までよくわかった。
- グループに分かれて実際にファシリテーションを行うことで、今後の仕事の自信に繋がった。

社会教育演習

シンポジウム 2月13日(火曜日)午前

自治体の社会教育主事や社会教育関係職員、社会教育士の職務の実際について説明を受けた。また、受講者との意見交流等を通して、社会教育行政の役割や社会教育施設の職務、地域における社会教育士の役割等について理解を深めた。



国立花山青少年自然の家
企画指導専門職 菊池 恵理



大八まちづくり協議会事務局
コーディネーター 山本 真紀



群馬県教育委員会事務局
利根教育事務所 川場村特別派遣
社会教育主事 松井 太郎

事業計画立案の実際

2月13日(火曜日)午後～16日(金曜日)
社会教育計画策定の視点と手順について、演習を通じて総合的な理解を図るとともに、事業計画立案の基本的な知識・技術の習得を図るため、市区町村における中・長期事業計画を立案した。また、作成した計画を基に、市区町村の社会教育委員の会議における事務局の提案という想定で受講者相互のプレゼンテーション演習を実施した。



受講者の声

- すぐに効果が現れるものではなく、漢方薬のようにじわじわと効いてくるという点がこの業務を見事に表現した内容であると感じた。
- 対面学習、制作指導、いずれも対面できない学習機会を設けて頂き、学びが深まった。
- 演習では、自分だけの価値観に寄らず、互いに試行錯誤しながら進める、大切な部分について再認識できたような気がした。